

記入例

業 績 書

No. 1

「〇△学修士」「修士(〇△学)」の2
パターンの表記があります。取得し
た学位を正確に記載してください。
(博士も同じです)

業績書作成日

2009年11月7日現在

氏 名 今 出 川 太 郎	学 位	法学修士	博士 (法学)	Ph. D.
	取得年月	西暦1986年 3月	西暦2004年 3月	西暦2008年6月
	授与機関名	同志社大学	同志社大学	コロンビア大学

項目別	西暦 年 月	論 文 ・ 著 述 ・ そ の 他
修士論文	1986 3	論文名 例：「論文名」●●大学修士論文 ※英語表記の場合は“論文名”
博士論文	2008 6	論文名 例：「論文名」●●大学博士論文 ※英語表記の場合は“論文名”
著書 (単行本) 著書 (単著)	2009 5	書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集、講座、叢書、双書等)の1冊である場合)、著者名、総ページ数等 例：『書名』(発行所名)、著者名(本人)、全●●頁 例：“書名”，発行所名，著者名(本人)，●●pages ※英語表記の場合 著者が1名の場合のみが該当します。担当部分が単独執筆であっても当該著書等に 記載された著者が複数いる場合には、共著に分類してください。
著書 (共著)		書名、発行所名、巻号数(シリーズもの(全集、講座、叢書、双書等)の1冊である場合)、著者名、(総ページ数)、本人担当部分等 例：『書名』(発行所名)共著者または監修者名等 *担当執筆箇所「第●●章 タイトル●●」(pp. ●●～●●) 例：“書名”，発行所名，共著者または監修者名等 *担当執筆箇所 第●●章，タイトル●●，pp. ●●～●● ※英語表記の場合 著者が複数の場合が該当します。担当部分が単独執筆であっても当該著書等に 記載された著者が複数いる場合には、共著に分類してください。 共著の場合は、原則として本人を含めて共著者名をすべて記載し、本人担当部分が 明確になるように(担当部分の章、節、題名、掲載ページ等)記載すること。 共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他〇名とすることも可。
学術論文		論文名、著者名、掲載誌名、巻・号、掲載ページ等 学術雑誌、学会機関紙、研究報告等に学術論文として発表したものを 記入すること。 単著の場合 例：「論文名」、著者名(本人)、『掲載誌名』巻・号、 pp. ●●～●● 例：“論文名”，著者名(本人)，掲載誌名(巻・号)， pp. ●●～●● ※英語表記の場合 共著の場合 例：「論文名」、著者名(共著者・本人の氏名を掲載順に)、 『掲載誌名』巻・号、pp. ●●～●● 例：“論文名”，著者名(共著者・本人の氏名を掲載順に)， ，掲載誌名(巻・号)，pp. ●●～●● ※英語表記の場合 共著の場合は、原則として共著者名をすべて記載してください。 共著者多数の場合は、主な著者と本人を記載し、他〇名△番目とすることも可。

同一項目の中
では、発行年の
古い業績から
新しい業績の順
に記載してくだ
さい。

単著の場合

共著の場合

記入例は2枚目に続きます。

*学位欄に学士は記入不要です。

学校法人 同志社

